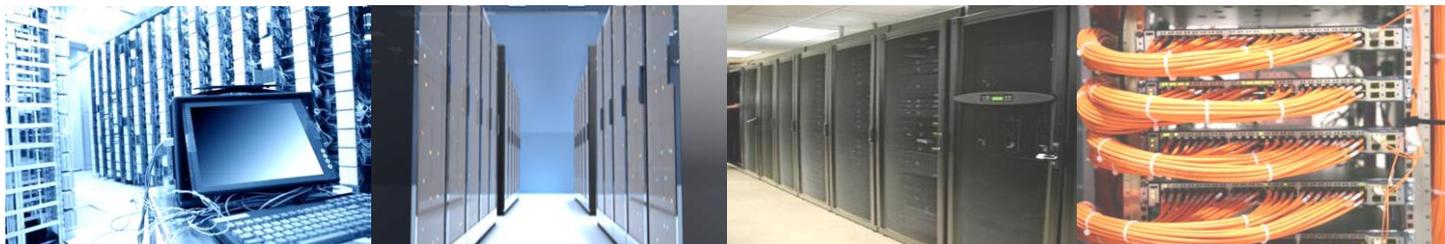


## データセンター「物理的対策診断サービス」のご案内



現代のデータ主導型の社会において、データセンターは重要なインフラの一つです。

JQAでは、地震・水害・火災などの災害や人的被害からデータセンターを守り、「情報システムおよび要員の安全確保」と「情報システムの安定稼働」を実現するための物理的な安全対策について、各種基準に基づく診断サービスをご提供いたします。

当診断サービスをご利用いただくことで、ISO/IEC 27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の審査とは別の切り口で、お客さまのデータセンターにおける安全対策の実施状況と今後取り組むべき対策が明確になります。

また「データセンター安全対策適合証明」の取得を検討中のお客さまは、同証明取得に向けた準備にご活用いただけます。

日常点検では見逃してしまうようなものについても、細かくアドバイスいたします。  
データセンターの新築をはじめコンピュータ室・データ保管室・電源室・空調室等改修の際もJQAへお気軽にお声掛けください。

### 【各種基準】

診断サービスに利用する基準は、以下①～③からご選択ください。

- ① 金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準 [FISC<sup>\*1</sup>基準]
- ② 情報システムの設備環境基準 [JEITA<sup>\*2</sup>基準]
- ③ JQA情報システム及び関連設備の運用基準 [JQA運用基準]

### 【事前にご用意いただく書面】

- ・建物平面図（屋上を含む全ての階、防火区画を明記）
- ・単線結線図（受電より情報システム分電盤まで）

### 【物理的対策診断サービス（個別検査）の工数/料金】

- ・1日（1工数・1基準） 16万円（税別）<sup>※3</sup>

<sup>※1</sup> FISC 公益財団法人 金融情報システムセンター

<sup>※2</sup> JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会

<sup>※3</sup> 上記の料金以外に、当機構が定める規定に基づく出張費、交通費およびこれらに係る消費税が別途必要となります。

### データセンター事故事例

海外データセンター<sup>※</sup>で、無停電電源装置（UPS）起因の火災が発生し、サービスが停止。

<sup>※</sup>2021年3月 仏国 OVHcloud

この事例では、安全対策基準上、設備・運用の双方に問題があるようです。

当診断サービスでは、下記に掲げるような診断のポイント（例）に対して、ご選択いただいた基準に照らして対策が講じられているかを診断いたします。

<当診断サービスにおける診断のポイント（例）>

- 設備面
  - ・耐火建築物で、防火区画を形成しているか？
  - ・防火ダンパーが設置されているか？
  - ・適切な自動火災報知設備を設置しているか？
  - ・適切な消火設備、消火器を設置しているか？
  - ・内装材は不燃材等となっているか？
- 運用面
  - ・委託先等を含め夜間自衛消防体制があるか？
  - ・バッテリー交換等に対する十分な資金および設備を定期点検する設備管理体制があるか？

お問い合わせ先 <https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構 マネジメントシステム部門 カスタマーリレーション部 企画課

〒101-8555 東京都千代田区神田須田町1-25 E-mail [ms-suishin@jqa.jp](mailto:ms-suishin@jqa.jp)

（在宅勤務実施中のため、大変恐れ入りますが、お問い合わせは上記アドレス宛にメールでお願いいたします）